

事業名	文化科学技術の推進	
主管課及び関係課 (課長名)	科学技術・学術政策局 計画官付 (計画官：川端和明)	
施策目標及び達成目標	<p>施策目標 4 - 9 社会基盤等の重要分野の推進や急速に発展しうる領域への対応</p> <p>達成目標 4 - 9 - (新規) 科学技術研究者と文化芸術・文化財保存関係者等の交流・連携の場の提供等により、文化芸術・文化財保存等に役立つ新たな技術の導出及び技術情報の拡充等を目指す。これにより、科学技術と文化芸術の融合的推進、文化芸術を支える科学技術の推進を図る。</p>	
事業の概要	<p>科学技術と文化芸術の融合的推進、文化芸術を支える科学技術の推進のため、以下の事業を実施する(すべて本省直轄事業)。</p> <p>メディア芸術高度化技術の導出、文化財の保存・活用に役立つ技術選択肢の拡充のため、文化芸術イベントと連動して、文化科学技術の成果発表・討論の場を提供する。伝統知を活かした技術の創出、科学技術の社会的存在感の向上のため、伝統工芸・伝統技能に内在する科学技術の解明及び発信を行う。</p> <p>未知なるものの発見・解明による感動、科学技術活動の体感機会の創出のため、科学技術研究者と情報デザイン研究者の連携の場を提供する。</p>	
予算額及び事業開始年度	<p>平成17年度概算要求額：49百万円</p> <p>事業開始年度：平成17年度</p>	
得ようとする効果	<p>科学技術研究者と文化芸術・文化財保存関係者の交流機会を設けることにより、メディア芸術高度化技術の導出及び文化財の保存・活用に役立つ技術の選択肢の拡充を目指す。</p> <p>伝統工芸・伝統技能に内在する科学技術の解明及び発信により、科学技術研究者に新たな技術の創出に繋がる情報等を提供する。また、広く一般に、科学技術の社会的存在感を示すことも期待できる。</p> <p>科学技術研究者と情報デザイン研究者の連携できる場等を設けることにより、科学技術研究者に新たな表現手法の技術情報等を提供する。また、新たな科学技術活動の成果発表等により、未知なるものの発見・解明による感動や体感を得させることにも寄与する。</p>	<p>達成年度</p> <p>21年度</p> <p>21年度</p> <p>21年度</p>
必要性	<p>今日における人々の求める豊かさは、精神的な豊かさに比重を移してきており、「科学技術の発展は心の豊かさも実現するものであるべき」という意見が80%程度(内閣府「科学技術と社会に関する世論調査(平成16年2月)」)に示されるように、科学技術を通じた心の豊かさの実現が求められており、「国民が夢と感動を抱ける機会の提供」が必要とされている(平成17年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針)。</p>	
効率性	<p>既存の文化芸術イベント等の場を活用して、科学技術研究者と文化芸術制作者等の情報交換・成果発表の場を設けることにより、効率よく事業を実施することができる。</p> <p>伝統工芸・伝統技能に内在する科学技術に関する情報等を解明し、それらの情報等を一元的に発信することにより、その類似性等の比較・検討や新たな技術創出等の研究活動を行う研究者に対して効率的な情報の提供が可能となる。</p> <p>科学技術研究者と研究対象として「明快な表現」を目指す情報デザイン研究者の連携できる場等を提供することにより、相互の研究活動における相乗効果が期待できるとともに、科学技術概念を具現化する手法等の技術情報提供を効率的に実施できる。</p>	
有効性	<p>有識者を交えた会議体において、事業の実施結果について適切に評価を実施する。その際、新たな技術の提案状況や伝統工芸等に内在する科学技術の解明状況及び表現手法の検討状況(内容・件数)等を十分に考慮して行うものとする。</p> <p>また、イベント等の実施後における参加者等からの意見収集のためのアンケート調査及び情報発信の方法・内容等に対する満足度の Web 等での意見収集を実施することにより、効果の測定を行う。</p> <p>さらに、当該事業 に関しては参加人数により、 に関しては Web へのアクセス件数等により実施状況を調査する。</p> <p>これらの結果をもって当該効果を把握する。</p>	

<p>得ようとする効果の達成見込みの判断根拠(判断基準)</p>	<p>当該事業で想定している文化科学技術の成果発表・討論の場は、多数の文化芸術関係者が制作した作品を応募する既存の文化芸術イベント等を想定しており、科学技術研究者が文化芸術制作者等と交流し、情報交換や成果発表・討論等を行うことで、十分と判断できる。</p> <p>当該事業は、伝統工芸・伝統技能に内在する科学技術を解明し、その成果等をシンポジウムや成果物を発行することで十分と判断できる。</p> <p>当該事業は、科学技術研究者と情報デザイン研究者の連携できる場等を提供し、技術情報等を共有する機会を設け、文部科学省ホームページに掲載するなど広く一般へ公表することで、効果の達成は十分と判断できる。</p>
<p>公平性、優先性</p>	<p>内閣府「科学技術と社会に関する世論調査(平成16年2月)」によれば、「科学技術の発展は心の豊かさも実現するものであるべき」という意見が80%程度、また、平成14年度以降の同世論調査では、心の豊かさを求める人が60%を超え、物の豊かさを求める人の2倍以上との結果が示されているところである。このように、近年、多くの国民が科学技術を通じた心の豊かさの実現を求めていることから、国民が夢と感動を抱ける機会の提供等を図るために、本事業の取り組みが優先される。</p>
<p>備考</p>	<p>本事業は研究課題事業でないため、事前評価は必ずしも必要ではないが、有識者の意見等を聴取しその結果を反映し実施するものである。</p>

文化科学技術の振興

文化資源委員会提言
(科学技術・学術審議会)
コンテンツの創造、保護及び活用
に関する法律(議員立法)
エンターテインメント・コンテンツ
産業の振興に向けて(経団連)

文化科学技術 高度化検討委員会

科学技術の発展は心の豊かさも実現すべきである
そう思う → 80% (内閣府)
(科学技術と社会に関する世論調査)
文理融合やアートとサイエンスといった観点からの指摘
(自民党科学技術専任部会)

高度化方針の決定

科学技術研究者と文化芸術関係者、 科学技術研究者と文化財保存関係者の 交流促進

科学技術研究者
文化芸術関係者の
交流

企画

技術展示募集

審査

展示会・報告書

科学技術研究者
文化財保存関係者の
交流

技術手法の検討

ディスカッションの場

科学技術研究者 シーズ
文化財保存関係者 ニーズ

IT芸術高度化技術の導出、文化財
保存・活用に役立つ技術選択肢の拡充

文化のための科学技術

伝統工芸・伝統技能に内在する 科学技術の解明・集積、発信・ 普及

解明・集積

情報提供
アドバイス

調査研究員

調査委員会

全国調査

報告

発信・普及

シンポジウム

成果物発行

アンケート調査

伝統知を活かした技術の創出、
科学技術の社会的存在感向上

文化による科学技術

科学技術研究者と情報デザイン 研究者の連携の場を設置

表現手法検討

技術開発委員会

方針決定
調査依頼

報告

調査研究員

国内・海外調査

トップダウン

ボトムアップ

表現手法検討

ディスカッションの場

科学技術研究者
情報デザイン研究者

Web

未知なるものの発見・解明による
感動、科学技術活動の体感

文化としての科学技術

科学技術と文化芸術の融合的推進
文化芸術を支える科学技術の推進

心豊かな社会